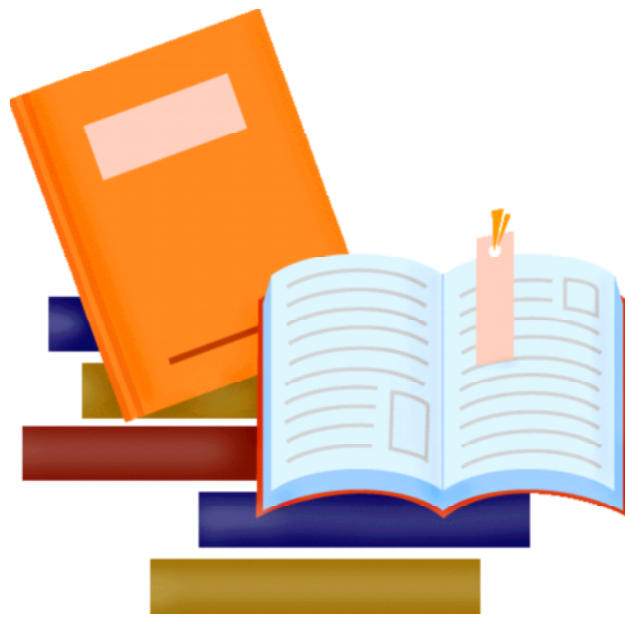


家庭学習の手引き



美馬市立木屋平中学校

やる気・根気・負けん気

☆「さあ、やるぞ！」というやる気

☆毎日コツコツとできる根気

☆誘惑に流されず、自分との勝負に勝てる負けん気

家庭学習のポイント(全体編)

みなさんの中学校時代は、幅広く多くの知識を学び、視野を広げられる大切な時期です。この『家庭学習の手引き』を参考にして、将来の夢や進路に向けて頑張ってください。

①規則正しい生活を心がける。

「早寝・早起き・朝ご飯」で生活のリズムを崩さないようにしましょう。

②勉強する時間を決めておく。

学校から帰って、毎日何時から学習を始めるのかを決めておき、朝の歯磨きのように習慣化することで継続した学習につなげることができます。

③テレビやゲームなどの誘惑に負けない。

見たい番組があるときには録画するなどして工夫し、宿題を優先させましょう。

④ながら学習はしない。

音楽を聴きながら、テレビを見ながらでは、頭の中でひらめきや発想は生まれません。学習に集中できる環境をつくりましょう。

⑤学習机周りの整理整頓を心がける。

部屋の中や学習机周りが片付いていないと学習意欲も出ません。効率よく学習できるように整理整頓を心がけましょう。

国語科

1 漢字

漢字はしっかり書いて覚えよう。

読めない漢字は漢和辞典で、意味の分からない言葉は国語辞典で調べるくせをつけよう。



2 現代文

文章の読み取り、読解力を高める一つとして、短くて要点のつかみやすい文章（新聞のコラム欄など）を読む習慣をつけよう。指示語に注意して読み、何について書かれてあるのかということをつかみ、さらに自分なりの意見をもてることが大事。

3 文法

主語、述語の関係など基本を押さえ、品詞の分類から整理していこう。



4 プリントについて

解けなかった疑問、問題などはその日のうちに先生に質問する。

疑問に思ったことは早めに解決する。

余裕のある人は、自分なりの問題集に挑戦してみる。

5 作文について

どんな課題が出されても、とにかく300字程度で自分の考えをまとめて書くことができるようにしよう。

そのためには、社会の中で起きているいろんなニュース、記事にも関心をもとう。

そして、常にいろんな人の話を聞いたり、考え方を学んだりしよう。そうすることで、物事に対する新しい考え方を知ったり、理解が深められたりできるはず。

また、自分の意見を伝えるにはどのような表現を用いれば良いのかなど、語彙（ごい）をどんどん広げていこう。



6 ノートについて

授業用、漢字学習用、家庭学習用に分けて学習を進めていこう。



7 読書について

文字によって心を豊かにし、視野を広げるということは素晴らしい。

たくさん本を読もう。

また、読書によって想像力、表現力、描写力などが身についていくはず。

数 学 科

1 . 予習をしよう

数学は独学の学問と言われていています。自分さえやる気になればいくらでも一人勉強することができるからです。もちろん学習する以前の単元を充分理解した上でのことですが。数学を学習する上で一番大切なことは予習です。これから学習しようとするものがどの程度の事なのかを知った上で授業に臨んでください。

予習の段階で難しいと思ったら・・・しっかり集中して授業をきいてください。その日のうちに疑問を解決しておくことが重要です。

案外簡単だと思ったら・・・練習問題をいくつか解いてみてください。答え合わせをして正解なら安心です。



2 . 復習はあくまで基本を理解した上で

宿題などもそうですが、復習はあくまで基本的なことを理解したうえで行うものです。学校でわからなかったことを家に帰って一人で考えてもどうにもなりません。復習は理解していることをさらにしっかり定着させたり難易度の高い問題をじっくりやってみるときに有効です。不安なときは学校で先生に質問し、しっかり理解して帰りましょう。

3 . 数学の得意な人が心がけていること

・テストの間違い直しをする・・・一度間違えたところや、解らなかったところをそのままにしないことです。どうしても解らなかつたら暗記するぐらいの気持ちで。

・速く解く習慣をつける・・・じっくり落ち着いて、などとテストの時に言われますが数学では普段から短時間で解くようにしてください。宿題も早く終わるし、授業中もゆったりとした気持ちで臨めます。テストのときは2回3回と見直しをする時間ができるくらいに。

・問題集は模範解答のていねいなものを選ぶ。

社 会 科

社会科を学習する意義は

「社会の勉強」=暗記!とっていませんか? 確かに, 大事なことばや人物の名前をある程度覚えておくことは, とても大切なことです。しかし, 英語でも`social studies`というように, 実際に社会に出て生かせる知識でないと意味がないと思います。とくに, 国際化・情報化・高齢化などといわれる現代社会において, みなさんが「社会科」で学習したことは, 益々重要になってくるでしょう。

地理で習ったことは, 世界の多様な風土や文化を理解する助けとなってくれるでしょう。

歴史で習ったことは, 現代社会がどのような方向に向かっているのかを考える助けとなってくれるでしょう。

また, 公民で習ったことは, まさにみなさんが踏み出す「現代社会のしくみ」です。地理や歴史で学習したことも総動員し, 「公民」としての責任を果たしていく助けとなってくれるでしょう。

地理の家庭学習の仕方

1. 授業内容をまとめる「自主勉ノート」を作しましょう。
授業ノートに大事な語句を色づけしたり, 語句の意味を書き足したりして, 自分独自の工夫を加えましょう。
2. 地理の技能を身につけましょう。問題をたくさん解くのもいいでしょう。

《とくに身につけておきたい技能》

時差 地形図 雨温図

歴史の家庭学習の仕方

1. 授業内容をまとめる「自主勉ノート」を作しましょう。
授業ノートの赤字・黄字, 教科書太字はしっかり押さえる。
歴史の大まかな流れをつかむことに重点をおこう。
細かい年代を覚えるより, 時代順を確実に。
2. 「歴史の大まかな流れをつかむ」には, 「学習漫画」も役立ちます。

公民の家庭学習の仕方

1. 授業の復習をしっかりと。
2. 過去の実際の入試問題など, 問題にも多く当たっておこう。



理 科

理科の学習のポイントは？

実験・観察の方法や結果、指示薬の反応、結果からどのようなことが分かったのかを、きちんと整理してマスターしておくことが大切です。

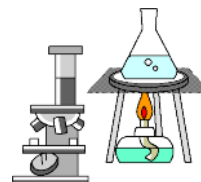
家庭学習のしかた

1. 予習をしよう。

次の時間に学習する内容や実験について、教科書をよく読んでおくことで授業中の説明や実験手順も分かりやすくなります。短時間でよいので心がけてみて下さい。

2. 復習をしよう。

その日に学習した内容を教科書を使って復習する。
声に出して読む。



教科書の図やグラフをみて、その意味や見方を見直す。

教科書の太文字の部分に蛍光ペンでチェックする。
(太文字だけでなく、その用語の意味も併せてチェックしておくとうい.)

理科ノートや探究の理科の問題を見直しておく。



3. 自主学習ノートの学習方法

用語の整理・・・大切な用語についてまとめておく。
暗記し、声に出して説明できるようにしておく。

(記入例) 蒸散・・・植物の体(気孔)から水が水蒸気になって出ていくはたらきをいう。根からの水の吸い上げがさかんとになり、水や水にとけた養分が植物の体全体に運ばれていく。

図の整理・・・教科書の大切な図などを、ノートに写し説明も付け加えておく。
(どの図が重要なのかは、授業ノートで確認できる。)

計算問題の整理・・・公式を覚える。
理科ノートや探究の理科の計算問題をノートに写して、
公式や計算の過程も残して解いていく。
図なども書くことで、テスト前の見直しノートとして活用できる。

4. その他

こつこつとていねいに学習を進めていくことが一番です。頑張りましょう！

英 語 科

1 予習をしましょう！

- ・新出単語の意味調べをしましょう。意味だけではなく、**品詞**や**連語**などもチェックする習慣をもちましょう。



2 復習をしましょう！

- ・一度授業で学習した後、家庭での復習が必要です。家庭での復習の際には、**板書事項と、授業中自分で書き残したメモを必ず読み返しましょう。**授業中、先生の話をよく聞くためには、随時、重要だと思われるところのメモをとらなければなりません。メモの量が多ければ多いほど、復習するときその授業の内容が思い出され、より記憶がしっかりします。授業中は、先生がまとめとして書いた「板書」を写すだけではなく、しっかりメモをとりましょう。板書事項やメモを読んでいる間に、わからないことや忘れてしまったことが出てきたときには、自ら調べて確認しましょう。それでもわからない場合には、必ずそれを書きとめておき、次の日に友達や先生に聞いてみましょう。復習することで、わからないところが明らかになります。わからないところは、必ずそのままにしないようにしましょう。毎回の授業の後に、この家庭学習を怠りなくすることが、しっかりとした知識を定着させる一番の方法です。
- ・新出単語や基本文は**発音しながら何度も書いて**覚えましょう。何度も何度も書いて、手が自然に動くくらいまでになりましょう。
- ・本文の音読練習を正しい発音で行い、**暗唱できるくらいまで**練習しましょう。本文の発音や意味、文法など、全てしっかりと覚えましょう。

3 試験勉強をすることにより、再度学習内容を思い出し、記憶を確実なものにしましょう！

- ・中間テストや期末テストは、年間4回行われます。そのテストは、授業を行った後、かなり時間が経ってから、記憶の定着度を見るものです。数ヶ月にわたる授業の中身を数時間程度の学習時間で再確認できるはずはありません。しっかり学習時間をとってください。そのことによって、記憶はより深いものになり、忘れることのないものになります。

何度も繰り返し学習することによって、より深い記憶とすることができ、記憶を定着させるために、日々の努力を大切にしましょう！

